

# ルーマニア月報

2016年7-8月号



平成28年9月9日  
在ルーマニア大使館作成

Embassy of Japan in Romania  
<http://www.ro.emb-japan.go.jp>

本月報はルーマニアの報道をもとに、日本大使館がとりまとめたものです。

(AG:アジェルプレス通信、ZF:ズィアルル・フィナンチアル紙、NO:ナインオクロック紙)

## 主要ニュース

- 【内政】** ●政府は、議会総選挙投票日を12月11日(日)とすることを発表した。議会総選挙を巡っては、総選挙後の政府のあり方(首相候補を含む)を巡って、多くの憶測が流れた。
- アナ元ルーマニア王妃(92歳)が滞在先のスイスで逝去した。葬儀は8月13日、クルテア・デ・アルジェシュの教会で行われた。
- 【外政】** ●ワルシャワで開催されたNATO首脳会合にヨハニス大統領が出席。同大統領は、ルーマニアへのNATO多国籍部隊の展開が決定されるなど、同首脳会合がルーマニアにとって成功であったことを強調した。
- トルコにおけるクーデター未遂事件を受けてヨハニス大統領は談話を発表。トルコがルーマニアにとって重要なパートナーであることを確認するとともに、同国の安定が地域、欧州、国際の安全保障に重要であることを指摘した。
- 【経済】** ●2016年第2四半期のGDP成長率(速報値)は、対前年同期比6.0%(季節調整前)、5.9%(季節調整後)。対前期比では1.5%(季節調整後)。2016年上半期は5.2%(季節調整前)、5.0%(季節調整後)。
- 7月7日、コステスク運輸相の後任として、ソリン・ブシェ新運輸相が就任した。
- 【我が国との関係】** ●タティアナ・ヨシペル次期駐日大使が任命された。

## 内政

### ■「国家目標」に関する要人の発言

・7月4日、ヨハニス大統領は、英国のEU離脱決定に関する政府、政党及び中央銀行関係者との協議の場において、EU加盟を果たしたルーマニアにとっての新たな「国家目標」の必要性に言及した。新たな「国家目標」の必要性は、EU離脱を巡る英国の国民投票の直後(6月23日)に、ドゥンク副首相兼地域開発・公共行政相によって初めて言及され、それ以来、新たな「国家目標」の設定はPSD(社民党。中道左派)とPNL(国民自由党。中道右派)とを結びつける「政治的装置」であり、議会総選挙におけるPNLの劣勢が言われる中で(下記「世論調査結果」参照)、本年秋の議会総選挙後にPSD及びPNLによる大連立政

権の発足を大統領府(及び現チョロシュ内閣)が望んでいることを示唆するものではないかとの憶測が流れている。

・7月5日、行政の効率化に関するシンポジウムに参加したヨハニス大統領は、議会選挙の結果に左右されない長期的な視点が必要だと述べた。同シンポジウムでは、ボルク副首相兼経済・貿易・ビジネス環境省より「Competitive Romania」と題する新たな経済戦略が発表され、チョロシュ首相は、ルーマニア経済の競争性向上については政党間の合意が必要であり、そうした合意は選挙結果に左右されるべきではないと発言した。

・これに対し、同5日、議会選を優位に進めていると

みられる PSD のドラグネア党首は、大連立内閣というアイデアを支持しない旨発言した。

### ■閣僚の交替

- ・ 7月5日、チョロシユ首相は、コステスク運輸相、ボスタン通信・情報社会相、クラジュ教育・科学研究相及びストエネスク在外ルーマニア人関係担当相の交替を発表した。その後（7日）、大統領府において宣誓式が行われ、ブシェ運輸相、ドゥミトル教育・科学研究相、リゴル在外ルーマニア人関係担当相がそれぞれ就任した。通信・情報社会相は、当面の間、ドラゴシユ首相府官房長官が代行することとなった。
- ・ 8月10日、ポペスク新通信・情報社会相が就任した。

### ■PMPとUNPRの合併

・ 7月12日、バセスク PMP（国民の運動党）党首（前大統領）は、同党と UNPR（ルーマニアの進歩のための国民同盟）との合併を発表した（その後、同合併は20日に開催された PMP 臨時党大会において承認された）。UNPR との合併により、PMP は、2,500名を超える市町村議会議員、44名の市町村長、51名の県議会議員が所属する政党となり、国政レベルにおいても議会第3勢力となった。PMP は先の統一地方選挙における得票率が4.27%に止まっていた（県議会議員選挙における得票率）。

### ■アナ元ルーマニア王妃の逝去

・ 8月1日、アナ元ルーマニア王妃が滞在先のスイスにおいて逝去した。92歳だった。同元王妃の葬儀は、13日、歴代の君主が埋葬されているクルテア・デ・アルジェシュ教会で執り行われた。葬儀には、ロシア、オーストリア、ドイツ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク等から旧王家を含む王室メンバーも出席した。

### ■議会総選挙投票日の決定

・ 8月31日、政府は、議会総選挙の投票日を12月11日とすることを決定した旨発表した。

### ■議会総選挙に向けた要人の発言

- ・ 7月11日、ケレメン UDMR（ハンガリー人民民主同盟）党首は、次期首相候補に関する「アジェルプレス」通信のインタビューに答えて、もしチョロシユ首相が議会総選挙後に政党の支持を得るなら良い首相となるかもしれないとの考えを述べた。
- ・ 7月11日、ゴルギウ PNL（国民自由党）共同党首は、記者会見において、議会総選挙後も PSD との協力はせず、また同党との大連立内閣も望まない旨発言した。
- ・ 7月27日、タリチャーヌ ALDE（自由民主主義同盟）党首（上院議長）は、プレスリリースを発出し、チョロシユ内閣を一日も早く退陣させ、議会総選挙を10月下旬ないし11月上旬にも実施すべく、議会政党は協議を行うべきであるとの考えを示した。
- ・ 8月25日、ブラガ PNL 共同党首は、議会総選挙後のテクノクラート内閣成立の可能性を排除しない旨発言した。同日、ドラグネア PSD 党首は、PSD は、議会総選挙後に政権を担う準備を進めており、PNL との大連立はあり得ない旨発言した。

### ■世論調査結果

- ・ 8月に公表された支持政党に関する主な世論調査結果は次のとおり。その数値にばらつきは見られるものの、全体的な傾向として次の2点が注目される。
- PSD が引き続き PNL を支持率においてリード。
- 議会足切りラインである得票率5%を超えて議席を獲得する可能性があるのは、上記2大政党のほかは、ALDE、PMP、UDMR 及び USR（ルーマニア救出同盟）の4党に絞られてきたとみることが可能。

#### 【Avangarde】

PSD	38%
PNL	29%
ALDE	7%
PMP	6%
UDMR	5%
USR	4%

その他	11%
【NOVEL RESEARCH】（PNLの依頼によるもの）	
PSD	37%
PNL	31%
ALDE	8%
PMP	6%
UDMR	6%
USR	4%

#### 【CIADO】（都市部のみ）

PSD	35.76%
PNL	32.33%
ALDE	8.20%
USR	8.10%
PMP	7.57%
その他	8.04%

#### 【CURS】（ブカレスト市のみ。PNLの依頼によるもの）

PSD	43%
PNL	29%
USR	10%
ALDE	7%
PMP	5%

## 外政

### ■カナダ関係

・7月7日、チョロシユ首相は、カナダによるルーマニア国民に対する査証免除に向けた動きについては進展があり、来るトゥルドー・カナダ首相との会談においても議論されるだろうとの見通しを述べた。

・7月12日、欧州委員会は、今秋にもカナダはルーマニア及びブルガリアに対する査証免除措置導入に関する行程表を明らかにするだろうと発表した。

### ■NATO関係

・7月9日、NATOワルシャワ首脳会合に出席したヨハニス大統領は、同会合ではルーマニアの関心事項

が成果文書に反映されるなどルーマニアにとって成功であったと述べた。ルーマニアに関する主な成果としては、ルーマニアへのNATO多国籍旅団の展開、ルーマニアにおける緊急事態対応計画の改定、黒海における海軍間協力に関する議論の継続などが挙げられる。さらに、二国間協力として、米国が2017年からルーマニアへの米軍のプレゼンス強化を発表した。ルーマニアに展開される多国籍旅団にはこれまで、ポーランド及びブルガリを含む6か国から部隊派遣の打診を受けているとされている。

### ■ベトナム関係

・7月12日、ベトナムを訪問したチョロシユ首相は、グエン・スアン・フック・ベトナム首相と会談し、両国の二国間協力の再開について意見を交換した。

### ■中国関係

・7月12日、グトマン外務次官は、ルーマニアを訪れたFu Ying 中国全人代外交委員長と会談し、二国間関係及び国際情勢について意見を交換した。

### ■ASEM関係

・7月15日、ウランバートル（モンゴル）で開かれた代11回ASEM首脳会合に出席したチョロシユ首相は、「ドナウ戦略」をEU内におけるサブ地域協力の好例として紹介した。また、同首相は、欧州におけるルーマニアの役割としてアジアとの連結性について触れ、黒海に面しているルーマニアは南東欧における運輸面におけるハブとなり得ることを指摘した。

### ■トルコ関係

・7月16日、トルコにおけるクーデター未遂事件を受けて、ヨハニス大統領は、トルコはルーマニアにとって戦略的パートナーでありNATOを通じた同盟国でもある、民主主義と民选的に選ばれた機関を基礎とする同国の安定は、地域、欧州及び国際の安全保障にとって重要であるとの談話を発表した。

### ■米国関係

・7月21日、ヨハニス大統領及びチョロシュ首相は、ルーマニアを訪れたチャフェツ米議会監督・政府改革委員会委員長とそれぞれ会談した。チョロシュ首相は会談の中で、不安定な地域におけるルーマニアの安定性を強調した。

・8月8日、ヨハニス大統領は、ルーマニアを訪れた米議会代表団と会談し、同国との戦略的パートナーシップを経済面にも拡大することの必要性を強調した。

### ■「テロとの戦い」関係

・7月28日、モトク国防相は、イラク及びシリアにでのISILとの戦いにおける助言任務に参加するため、50名のルーマニア軍兵士を派遣する予定であることを発表した。

### ■モルドバ関係

・8月3日、政府は、一時凍結させていたモルドバに対する借款150百万ユーロの第一次トランシェ60百万ユーロを8月24日に送金することを閣議承認した。

・8月24日、政府は、モルドバの幼稚園に対する家具供与及びモルドバ地方自治体を実施するプロジェクトを支援するための2つの覚書（計5百万ユーロ）を閣議承認した。

・8月25日、チョロシュ首相は、首相就任後初めてモルドバを訪問し、ティモフティ・モルドバ大統領、フィリップ・モルドバ首相、カンドゥ・モルドバ議長とそれぞれ会談した。フィリップ首相との会談において、チョロシュ首相は、対モルドバ借款の第二次トランシェは、同国がIMFとの合意に達した後に供与されるだろうとの考えを表明した。また、モルドバ・プレスからのインタビューに答え、チョロシュ首相は、今後数年間でルーマニアはモルドバに対する天然ガスの供給者となり得るとの見方を示した。

### ■欧州関係

・8月8日に発表されたEUに関する世論調査結果によると、ルーマニアがEU離脱すべきかどうかを問う国民投票が行われた場合、77%の国民がEU残留を

支持するとの結果が示された。同世論調査は、世論調査機関IRESが7月13-15日にかけて行ったもの。

### ■トルコ、ポーランド関係

・8月25日、コマネスク外相は、アンカラ（トルコ）で開催されたトルコ・ルーマニア・ポーランド三者外相級会合に出席し、ウクライナを含む地域情勢等について意見を交換した。

### ■ポーランド関係

・8月27日、チョロシュ首相は、ルーマニア北部のグラ・フモールルイにおいてシドウォ・ポーランド首相と会談し、両国関係の強化やEU改革に関する問題について意見を交換した。

### ■外交全般

・8月29日～9月1日にかけて、ルーマニアの各国駐在大使を一堂に会したルーマニア大使会議が開催された。31日、同会議に参加したヨハニス大統領は、米国との戦略的パートナーシップを強化・拡大するための戦略を持つことの重要性を指摘した。また、同大統領は、地域安全保障におけるトルコの重要性に触れるとともに、ロシアとは予見可能かつ実際的な関係を築いていくことが重要であることを指摘した。

## ■経済

### ■マクロ経済

（特に記載のない限り、対前年比又は前年同期比、季節調整後、出典は国家統計局INS）

#### 【5～6月分統計】

##### （1）鉱工業

	5月	6月
工業生産高	▲1.6%	▲0.5%
工業売上高(名目)	5.6%	3.2%
工業製品物価指数	▲2.8%	▲2.3%
新規工業受注高(名目)	6.4%	17.8%

工業売上高(名目)が減速。新規工業受注高(名目)が加速。

(2) 販売

	5月	6月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	15.2%	16.2%
自動車・バイク売上高	12.4%	19.1%
小売業売上高 (ユーロスタット)	ユーロ圏 1.6% EU28か国 2.8%	ユーロ圏 1.6% EU28か国 2.4%

5月の小売業売上高(ユーロスタット)対前年同月比では、ルーマニア(13.8%)が最も増加し、次いでルクセンブルク(10.0%)及びエストニア(7.0%)。

6月の小売業売上高(ユーロスタット)対前年同月比では、ルーマニア(16.2%)が最も増加し、次いでルクセンブルク(6.7%)及びスペイン(5.8%)。

(3) その他

建設工事	5月	6月
	9.4%	5.9%

建設工事が減速。

(4) 輸出入

	5月	6月
輸出	€46億7,470万 (4.1%)	€49億4,180万 (3.7%)
	RON210億1,690万 (5.4%)	RON223億1,270万 (4.9%)
輸入	€56億5,260万 (12.2%)	€56億3,760万 (2.7%)
	RON254億1,390万 (13.6%)	RON254億5,790万 (3.9%)

【1月～6月分統計】

(1) 鉱工業

	5月	6月
工業生産高	0.0%	▲0.01%

工業売上高(名目)	4.5%	4.3%
新規工業受注高(名目)	4.8%	7.0%

新規工業受注高が加速。

(2) 販売

	5月	6月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	16.8%	16.8%
自動車・バイク売上高	14.6%	15.6%

(3) その他

建設工事	5月	6月
	4.7%	5.0%

(4) 輸出入

	5月	6月
輸出	€232億4,010万 (4.4%)	€281億8,440万 (4.2%)
	RON1,043億3,440万 (5.3%)	RON1,266億5,860万 (5.3%)
輸入	€270億810万 (8.7%)	€326億5,180万 (7.7%)
	RON1,212億2,940万 (9.8%)	RON1,467億1,450万 (8.7%)
貿易収支	▲€3億7,680万 (▲€1億1,964万)	▲€4億4,674万 (▲€1億1,964万)
	▲€16億8,950万 (▲€5億4,909万)	▲€20億559万 (▲€5億4,312万)

【6～7月分統計】

・消費者物価指数

	6月	7月
全体	▲0.7%	▲0.78%
食料品価格	0.03%	1.25%
非食料品価格	▲1.22%	▲2.2%
サービス価格	▲0.74%	▲0.93%
消費者物価指数 (ユーロスタット)	ユーロ圏 0.1%	ユーロ圏 0.2%

	EU28か国	EU28か国
	0.1%	0.2%

6月の消費者物価指数（ユーロスタット）対前年同月比では、キプロス（▲2.0%）が最も低く、次いでブルガリア（▲1.9%）及びマルタ（▲1.0%）。

7月の消費者物価指数（ユーロスタット）対前年同月比では、ブルガリア及びクロアチア（▲1.1%）が最も低く、次いでスロバキア（▲0.9%）及びスペイン（▲0.7%）。

### 【その他統計】

・7月8日、INSはルーマニアの2016年第1四半期のGDP成長率（修正値）を対前年同期比4.3%（季節調整前）、4.1%（季節調整後）に下方修正した。また対前期比では1.5%（季節調整後）に下方修正した。（INS）

・8月12日、ルーマニアの2016年第2四半期のGDP成長率（速報値）は、対前年同期比6.0%（季節調整前）、5.9%（季節調整後）。対前期比では1.5%（季節調整後）。2016年上半期は5.2%（季節調整前）、5.0%（季節調整後）。（INS）

・12日、ルーマニアの2016年第2四半期のGDP成長率5.9%（季節調整後）は、EU内で最も高い記録となった。なお次に高かったのはスロバキア（3.7%）、スペイン（3.2%）。（ユーロスタット）

### ■IMF、国際機関関係

・7月13日、欧州委員会は、2度にわたり合計4億8,000万ユーロを融資（リスケジュール）する、ブカレスト地下鉄ライン5（M5）建設計画の修正を承認した。同建設計画は2017年12月31日までに完了する予定。（ZF）

・7月15日、欧州投資銀行（EIB）は、ルーマニア政府に対し、EUで優先順位の高いプロジェクト実施するための資金として、3億6,000万ユーロを融資する意向。（ZF）

・欧州委員会は、ルーマニア国鉄CFRのブラショフ＝シビウ区間鉄道の一部を近代化するため、4億4,000万の資金を承認した。この資金は、近代化に必

要な資金5億3,830万ユーロの81.74%で、残りは政府予算で賄われる。（7月19日付NO）

・8月8日、中央銀行（BNR）イサレスク総裁の発表によると、9月1日から国際通貨基金（IMF）ルーマニア代表として、BNRマクロ経済モデル・予測局長を務めてきたチェザル・ボテル（Cezar Botel）氏が就任する。（AG）

・8月24日、ルーマニア政府は、公共財務省に対して、同省からアジアインフラ投資銀行（AIIB）に、ルーマニアが同銀行の加盟国となる意図を表明する書簡を発出することを承認した。（AG）

### ■産業界の動向

・7月1日、フランス自動車製造者委員会（CCFA）によると、6月におけるフランスでのダチア新規登録台数は12,519台になり、対前年同月比で7.6%増加した。フランスの自動車市場全体は0.8%増加した。1月～6月にかけては、ダチア新規登録台数は6万1,925台になり、対前年同期比で14.3%増加した。フランスの自動車市場全体は8.3%増加した。（CCFA）

・ルーマニアにおいて、1月～5月の間、金融機関が提供する消費を目的とした個人融資総額は120億レイ（約26億ユーロ）で、前年同期比で50%増加した。また、個人向け住宅融資総額は51億レイ（約11億ユーロ）になり、前年同期比で54%増加。（7月4日付ZF）

・ブカレストにおける6月の中古マンション平均価格は、7万9,650ユーロで、5月の7万8,400ユーロから上昇。6月の平均価格は、2011年9月の価格8万200ユーロに次ぐ高価格であった。（7月4日付ZF）

・農業農村開発省のデータによると2016年の第1四半期のルーマニアの蜂蜜輸出量は、前年同期比で約10%増加して、2,442トンであった。（7月6日付AG）

・7月11日、市場調査会社ワールド・フットウェアのデータによると、ルーマニアにおける靴輸出総額は約1億3,000万ドルで、世界第14位。一足あた

りの価格は平均24ドルで世界第5位。なお第1位はイタリア(約51ドル)。中国は約4.4ドル。(ZF)  
・ルーマニア運転免許証・自動車登録局(DRPCIV)によると、6月の新規登録台数は約8,838台で、対前年同月比で24%減少した。(7月11日付AG)

・7月15日、欧州自動車工業会(ACEA)によると、6月におけるヨーロッパでのダチア自動車新規登録台数は4万5,380台となり、対前年同月比で15.8%増加した。1~6月にかけては21万9,198台となり、対前年同期比で6.8%増加した。(AG)

・7月18日、ルーマニア自動車生産者輸入業者協会(APIA)によると、6月の新車販売台数は1万4,929台で、過去6年間で最も高かった。1~6月の車両販売台数は6万1,151台で、対前年同期比で10.2%増加した。1月~6月のメーカー別自動車販売は1位がダチア(14,176台、市場線占有率:29.3%)で、次いでVolkswagen(4,890台、市場線占有率:10.1%)、Skoda(4,829台、市場線占有率:10.0%)。(APIA)

・8月1日、フランス自動車製造者委員会(CCFA)によると、7月におけるフランスでのダチア新規登録台数は8,234台になり、対前年同月比で-0.6%増加した。フランスの自動車市場全体は-9.6%増加した。1月~7月にかけては、ダチア新規登録台数は7万159台になり、対前年同期比で12.3%増加した。フランスの自動車市場全体は6.1%増加した。(CCFA)

・8月17日、ルーマニア自動車生産者輸入業者協会(APIA)によると、1~7月の車両販売台数は7万5,869台で、対前年同期比で14.8%増加した。1月~7月のメーカー別自動車販売は1位がダチア(18,517台、市場線占有率:30.2%)で、次いでVolkswagen(6,386台、市場線占有率:10.4%)、Skoda(5,905台、市場線占有率:9.6%)。(APIA)

・7月27日、ルーマニア金融監督庁(ASF)は、保険会社Carpatica Asigの破産手続の開始を求めた。

Carpatica Asigの年間売上高は1億3,000万ユーロで500人を雇用している。(ZF)

・2016年上半年期において、政府のファースト・ホームプログラムの下、2万1,000件の保証が提供された。保証数は前年同期比で40%増加した。(8月1日付ZF)

・2015年におけるルーマニアの農産物輸出額は500万ユーロで、対前年比で8%増加した。なお、穀物やタバコは、輸出額の60%を占めた。(8月1日付ZF)

・Romfood Trading社の調査によると、2015年ルーマニアのシーフード市場は3,500万ユーロで、2016年には約5%増加すると予測。Alfredo Seafoodがシーフード市場の23%を占め、シーフードのうち最も多く消費されているのがエビ(30.9%)で、次いでムール貝(16.4%)、イカ(13.8%)、タコ(8.8%)。(8月24日付ZF)

・1月~7月にかけて、ルーマニアの自動車製造台数は、23万1,206台で8.2%減少した。同期間における自動車輸出台数は20万9,050台で、8.4%減少した。(8月24日付ZF)

## ■投資関連動向

・自動車部品製造Draxlmaier社(ドイツ)は、ルーマニア、モルドバ、セルビア、マケドニア及びチュニジアでの投資を継続していく意向。(7月28日付ZF)

・自動車部品製造Leoni社(ドイツ)は、がビストリツァ県にある工場で、300人を追加で雇用すると発表した。同社は、ルーマニア国内の3工場で、1万7,000人を雇用している。(7月27日付ZF)

・医療用カプセル製造部門で欧州第2位のクオリカプス社(日本)は、同社ブカレスト工場拡張のため1,040万ユーロを投資した。拡張により年間製造は45%増加する。(8月2日付ZF)

・Kaercher社(ドイツ)は、ブカレストから約150キロ離れたCurtea de Arges市で、9月から掃除機製造を開始する。同社は製造工場のため2,000万ユーロを投資したが、このうち40%がルーマニア政府補助金。(8月11日付ZF)

・OMVペトロム社（オーストリア）は、2016年中に、7,600の石油掘削井戸のうち経済的に採算のとれない250の井戸を閉鎖すると発表した。2015年、同社は350の井戸を閉鎖している。2016年6月末時点での同社職員数は15,237人。（8月11日付ZF）

・ダイムラー社（ドイツ）の子会社である Star Transmission は、アルバ県 Cugir 市で新工場を立ち上げた。新工場では150人を雇用し、メルセデス・ベンツガソリンエンジン用高圧燃料噴射装置を生産する。投資総額は1,300万ユーロ。（8月19日付ZF）

・Leoni 社は、クルージ・ナポカ市において、シェアードサービスセンターを開設した。センターでは約50人が雇用され、主に人事業務が集約される。（8月29日付AG）

・8月26日、公共財務省の発表によると、フォード社（米）は、2019年末までにクライオヴァ市の同社工場に1億3,000万ユーロの追加投資を行う予定。（8月29日付ZF）

・Enea Romania 社は、ヤシ市において、欧州宇宙機関（ESA）のためのソフトウェアアプリケーションを開発する。ソフトウェアアプリケーションは、ESAがエアバス社とパートナーシップを組んで立ち上げたプログラムの一部である。（8月30日付ZF）

## ■公共政策

・労働・家族・社会保障・高齢者省の発表によると、7月1日から、育児休業手当下限が600レイ（135ユーロ）から、最低賃金グロスの85%、つまり現状では1,063レイ（約239ユーロ）に引き上げられた。（7月1日付ZF）

・7月7日、政府プレスリリースによると、2015年国家予算の歳入は1,037億レイ（約230億ユーロ）で、執行計画を55億レイ（約12億ユーロ）下回ったが、2014年の歳入と比べて9.8%増加した。（AG）

・7月7日、コステスク運輸相の後任として、ソリン・ブシェ新運輸相が就任した。（AG）

・7月11日、大統領府プレスリリースによると、ヨ

ハニス大統領は、大型スーパーにて販売される食料品のうち51%以上をルーマニア産の食料品とする法律を官報告示した。（ZF）

・7月21日、ヨハニス大統領は、農業協同組合に関する2004年法律台566号を修正し、官報告示した。修正された法律によると、農業協同組合一員になることを決定した農家は、税制上の優遇措置を受けられる。（AG）

・7月21日、公共財務省の発表によると、ルーマニア政府は、政府補助金制度（2014年政令第332号、従業員給与補助）について、5月30日～6月10日の同補助金申請期間中に申請があった企業のうち、矢崎ルーマニア社を含む23社に補助金が交付され、これら企業による新規雇用創出は3,300人に及ぶ。合格した23社に対する、政府補助金総額は約1億レイ（約2,240万ユーロ）。（ZF）

・8月3日、ルーマニア政府は、モルドバに対する有償資金協力1億5,000万ユーロうちの第一トラシエ6,000万ユーロを承認した。（AG）

・欧州基金省は、7月末の2007年から2013年欧州基金執行率を76.69%と発表。5月末の69.20%から上昇、6月末の76.69%から不変。（欧州基金省）

・8月6日、タロム航空の臨時CEOとして、同航空取締役会役員のダン・プラヴェティ（Dan Plaveti）が就任した。（AG）

・8月25日、エネルギー省次官は、ルーマニアとトルコをつなぐ海底ケーブルプロジェクトは、トルコ側の関心が無くなったため、現在策定中のルーマニア国家エネルギー戦略から除外された旨発言。（AG）

・公共財務省は、政府補助金制度（2014年政令第807号、初期投資補助）に応募があった36社のうち、補助金が交付される6社の企業を発表した。6社への補助金総額は6億2,100万レイ（約1億4,000万ユーロ）で、最大の補助金を受けるのは家電製造 Arctic 社、1億6,300万レイ（約3,600万ユーロ）。（8月30日付ZF）

## ■財政政策

・公共財務省によると、5月末の公的債務総額が2,780億レイ(約617億ユーロ)に達し、対前年同期比で200億レイ(約44.5億ユーロ)増加した。(7月18日付ZF)

・7月25日、公共財務省は、6月末のルーマニアの財政収支は約38億5,490万レイ(約8億6,627万ユーロ)、対GDP比で0.51%の赤字であったと発表。前年同月末の財政収支は約41億9,660万レイ(約9億4,300万ユーロ)、対GDP比で0.60%の黒字であった。(公共財務省)

・8月10日、政府は、第一回予算修正案を承認した。財政赤字目標はGDP比2.8%(現金基準)及び2.95%(ESA基準)で不変。(ZF)

・8月25日、公共財務省は、7月末のルーマニアの財政収支は約17億3,650万レイ(約3億8,580万ユーロ)、対GDP比で0.23%の赤字であったと発表。前年同月末の財政収支は約74億1,100万レイ(約16億4,690万ユーロ)、対GDP比で1.06%の黒字であった。(公共財務省)

## ■金融等

・7月1日、6月末の外貨準備高は317億2,900万ユーロ(5月末の326億7,200万ユーロから減少)、金準備高は103.7トンで不変。(BNR)

・8月1日、7月末の外貨準備高は326億5,900万ユーロ(6月末の317億2,900万ユーロから増加)、金準備高は103.7トンで不変。(BNR)

・7月14日、5月末の経常収支等について次のとおり発表。

(1) 経常収支は26億ユーロの赤字。なお、前年同期には4,200万ユーロの黒字であった。

(2) 外国直接投資(FDI)は、11億1,700万ユーロ。なお前年同期は12億8,700万ユーロ。

(3) 中長期対外債務は、2015年末から1.1%減少し、699億3,500万ユーロ(対外債務全体の79.5%)。

(4) 短期対外債務は、2015年末から6.4%減少して、180億8,200万ユーロ(対外債務全体の20.5%)。(BNR)

・8月6日、BNRは、四半期毎のインフレ報告書にて、2016年末のインフレ率予測を、前回報告書での予想0.6%から-0.4%に下方修正した。2017年末インフレ率も前回の2.7%から2.0%に下方修正した。(BNR)

・8月12日、6月末の経常収支等について次のとおり発表。

(1) 経常収支は25億700万ユーロの赤字。なお、前年同期には3億7,400万ユーロの赤字であった。

(2) 外国直接投資(FDI)は、20億3,600万ユーロ。なお前年同期は16億5,900万ユーロ。

(3) 中長期対外債務は、2015年末から2.5%減少し、689億800万ユーロ(対外債務全体の78.1%)。

(4) 短期対外債務は、2015年末から不変、193億4,800万ユーロ(対外債務全体の21.9%)。

(BNR)

・8月4日、ルーマニア中央銀行は、政策金利を年率1.75%で据え置くことを決定した。(BNR)

## ■労働・年金問題等

・7月1日、ILO基準による5月末の失業率は4月の6.4%から0.2%ポイント上昇し、6.6%となった。(INS)

・7月1日、ILO基準による5月の失業率は、ユーロ圏で10.1%(4月の10.2%から減少)、EU28か国で8.6%であった(4月の8.7%から減少)。なお、EU内で最も失業率が低かったのはチェコ(4.0%)で、次いでマルタ(4.1%)、ドイツ(4.2%)。反対に最も高かったのはスペイン(19.8%)、次いでクロアチア(13.3%)、キプロス(12.0%)。ルーマニアは6.6%であった。なおギリシャ等一部のデータは未発表。(ユーロスタット)

・7月7日、5月の平均給与(グロス)は、2,853レイ(約641ユーロ)で、対前月比で0.9%減少。平均給与(手取り)は2,063レイ(約464ユーロ)で、対前月比で1.1%減少。なお、平均給与(手取り)が最も高かった業種は、情報通信関連業(5,421レイ、約1,218ユーロ)で、反対に最も低かつ

たのは宿泊・飲食業(1,248レイ,約280ユーロ)。(INS)

・7月8日、ユーロスタットによると、2016年1月1日時点でのEU全体の人口は約5億1,010万人と推定され、2015年1月1日の5億830万人から増加。2015年において、最大の人口増加はルクセンブルク(23.3%)で記録され、次いでオーストリア(14.4%)、ドイツ(11.8%)。反対に、最大の減少はリトアニア(▲11.3%)で、次いでラトビア(▲8.7%)、クロアチア(▲8.2%)。ルーマニアは▲5.6%。(ユーロスタット)

・7月25日、ルーマニアの一般世帯は、42.4%が年金受給者で形成され、40.3%が経済的活動に従事し所得を得ている人々で形成される。(INS)

・7月29日、ILO基準による6月末の失業率は6.4%から0.2%ポイント減少し、6.4%となった。(INS)

・8月6日、保健省プレスリリースによると、2016年緊急政令第20号に基づき、10月1日から医師の夜勤手当が25%引き上げられる。(AG)

・8月8日、6月の平均給与(グロス)は、2,874レイ(約646ユーロ)で、対前月比で0.7%増加。平均給与(手取り)は2,078レイ(約467ユーロ)で、対前月比で0.7%増加。なお、平均給与(手取り)が最も高かった業種は、情報通信関連業(5,295レイ、約1,190ユーロ)で、反対に最も低かったのは宿泊・飲食業(1,251レイ、約281ユーロ)。(INS)

### ■格付(2016年9月9日付)

Fitch 外貨建長期(国債) BBB- (安定的)  
自国通貨建長期 BBB (安定的)

S&P 外貨建長期 BBB- (安定的)  
自国通貨建長期 BBB- (安定的)

JCR 外貨建長期 BBB (安定的)  
自国通貨建長期 BBB+ (安定的)  
(内はアウトルック)

## 我が国との関係

### ■新駐日大使の任命

・8月3日、ヨハニス大統領は、次期駐日ルーマニア大使として、タティアナ・スヴェトラナ・ヨシペル氏を任命する大統領布告に署名した。